

小倉駅(在来線)・大分駅・宮崎駅ホームの自動放送に メロディーを導入します

平成 27 年 5 月 1 日から、小倉駅（在来線）・大分駅・宮崎駅のホームで流しているお客さまご案内用の自動放送にメロディーを導入します。

現在、列車入線のお知らせや列車発車時のドアの閉扉予告の目的で使用している自動放送の電子警告音の一部を、オリジナルのメロディーに変更することで、より多くのお客さまに親しみを感じて頂くことを目的としています。

なお今回導入するメロディーは、現在、九州新幹線各駅（新鳥栖～鹿児島中央）や博多駅（在来線）、車内の放送で使用しているメロディーの作曲者である向谷実氏に作曲をお願いいたしました。

1 メロディーのコンセプト

- ・ 小倉駅在来線ホーム：多方面に発着を行う小倉駅のダイナミックな雰囲気に合わせて、ゆったりとした中にも多種多様な音の要素をちりばめたメロディー。
- ・ 大分駅ホーム：駅の高架が完成し、駅前に大きなビルが建ったことで、上を見上げて羽ばたいていけるようなメロディー。
- ・ 宮崎駅ホーム：ハネムーンのメッカとして一世を風靡した宮崎。その当時のヒット曲をモチーフに、軽やかな印象に残るメロディー。

2 メロディーの使用タイミング

- ・ 列車のホーム入線時の自動放送（約 5 秒）
 - ・ 列車発車時のドアの閉扉予告放送（約 10 秒）
- ※安全確保の必要性により、現在の電子警告音が流れる場合もあります。

3 向谷実氏のプロフィールについて



日本を代表するフュージョンバンド「カシオペア」の元キーボーディスト。

JR九州内では、九州新幹線で現在使用中の発車メロディー・車内メロディー、日南線を走る観光列車「海幸山幸」の車内メロディー、あまくさみすみ線を走る観光列車「A列車で行こう」の車内用BGMであるビッグバンド演奏のジャズの監修などを手がけられたほか、大手私鉄の発車メロディーなども数多く制作されています。

また（株）音楽館代表取締役を務め、列車運転シミュレーションゲーム「Train Simulator」や博物館、運転士訓練用のシミュレータの制作なども手がけられています。

音楽館ホームページ <http://www.ongakukan.co.jp>